

令和6年度 第3回 光が丘中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年12月10日（火） 午後1時30分から午後3時10分まで
- 2 開催場所 浜松市立光が丘中学校 会議室
- 3 出席委員 甘蔗 孝仁、溝口 玄、笹竹 和行、松井 章泰、森下 智子、實森 浜代
坂井 久司、瀧澤 文
- 4 欠席委員 青山 敏郎
- 5 学 校 山下 拓（校長）、瀬戸 一志（教頭）、石田 真（CS担当職員）
横山 貴美恵（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 横山 貴美恵
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から、輪番により松井委員にお願いしたいとの発言があり、全員異議なくこれを承認した。本日は、松井委員が議長を務めることとなった。

9 熟議事項

- （1）休日の部活動地域移行について
- （2）学校評価の進め方について
- （3）来年度学校に期待することと、学校運営協議会として協力できること

10 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）休日の部活動地域移行について

議長の指示により、校長より休日の部活動地域移行について、プロジェクターを用いて説明があり、委員からは、以下の発言があった。

●休日クラブに先生が付き添う場合は、市からの認定はどうなるのか。（松井委員）

→まだ決まっていない。（校長）

●クラブ活動については、行政からの補助はあるのか。（松井委員）

→まだ決まっていないことが多く、不明である。（校長）

●競技ばかりに目を向けて本末転倒にならないよう、生徒育成に目を向けて進めていけるとよい。（松井委員）

●先生と地域コーチの指導が違ふことにより、子供たちが混乱することにも気をつけたい。（坂井委員）

協議の結果、「休日の部活動地域移行について」は、承認不要とした。

(2) 学校評価の進め方について

議長の指示により、教務主任から学校評価の進め方について、資料(8, 9頁)を用いて説明があった。特に、委員から発議はなかった。

(3) 来年度学校に期待することと、学校運営協議会として協力できること

議長の指示により、教頭から来年度学校に期待することと、学校運営協議会として協力できることについて、資料(10頁)を用いて説明があり、委員からは以下の発言があった。

【Aグループ：会長、溝口委員、森下委員、瀧澤委員、教頭】

＜期待すること＞

- 学校規模が小さいことの強みとして、「一枚岩」(学校・保護者・地域)であることが考えられ、生徒が、より多くの大人と接することのできる環境であること。
- 進学(小学校から中学校、中学校から高校)するときに不安に思うことや、周囲になじめないといった問題もあるが、地域の良さを信じ、周囲と繋がり続けられるよう、たくましく(しなやかに)、自信をもって進んでほしい。
- 社会に出る時も、自分や地域の良さを信じ、自信をもって出て行ってほしい。

＜支援すること＞

- 教育相談を充実する。
- 調理実習だけでなく、支援について、外部の方にも手伝ってもらう体制を整える。

【Bグループ：松井委員、笹竹委員、坂井委員、實森委員、石田】

＜期待すること＞

- コミュニケーション能力、クリエイティビティ(人間の力)、自分の意志、政治への関心(日本への誇り)をもった人。
- グランドデザインで示された、「確かな学力」「豊かな感性」「たくましい心身」をもった人。
- 優しい子が多いといった良さがあるが、耐える力、自ら切り開く力が低いため、それらをつけられると良い。

＜支援すること＞

- 調理実習では、生徒のいい笑顔、協力する姿勢が見られた。コミュニケーションの第一歩である挨拶を推進するとともに、教師・生徒の信頼関係を構築し、普段の学校生活においても、いい笑顔が見られるような指導を考えたい。
- 生徒、保護者、地域、職員が、グランドデザインを共有し、取り組むことができるようサポートする。

協議の結果、「来年度学校に期待することと、学校運営協議会として協力できること」は、承認不要とした。

【その他報告事項等】

- 司会の教頭から、学校運営協議会委員の任期について、令和6年度は1期3年目となり、初年度から参加していただいた方は、任期を終えられるが、再任は1回まで（最大6年）できる旨の説明があった。
- 司会の教頭から、次回会議は、令和7年1月30日（木）午後1時30分から会議室で開催する旨の説明があった。